

NHさんから届いた感想文

紅葉の時期、軽井沢の DEQX セミナーでは大変お世話になりました。

まず、私以外はさすがの DEQX ユーザーさんという感じで、音楽とオーディオが大好きな方々ばかり。

なんやかやと話が尽きず楽しいひと時を共有でき、参加させて頂き良かったと思っております。

セミナーの最初に行われたデジタル入門講座も知っているようで知らない話が多く、大変参考になりました。

全体を通して受講生にとっては大変有意義なセミナーだったと思います。

私の場合、DEQX の導入から 4 年以上が経過します。この間、スピーカユニットを変更した際などには自分なりに DEQX の再設定を行ってきました。

この中、様々な場面で疑問を持ちながらの作業だったことも確かです。

しかし、細かいことを抜きにすれば簡単な調整でも導入以前に比べて音楽に浸れるレベルが格段に向上していたので日常的にパソコンを接続することはなく、そのまま時間が経過していました。

そんな中、DEQX 調整時の疑問点を解消し、自分の手で自在に設定出来れば楽しいのでは、との思いから今回のセミナーに参加させて頂きました。

また、このセミナーの直前に取りかかった久々の調整で、改めてにコンプレッションドライバーのクロスオーバー周波数や減衰量をどのあたりにすれば良いか、大変悩ましかったのですが、多くのメールやり取りで的確にご指導頂きました。

この中で、基盤のジャンプスイッチで 5 段階に設定できるライン出力のゲイン設定について分かったことがあります。

私が使用している HDP-3 はクリズラボの KLSP (Special Advice) に記載された写真 (HDP-4) とは基準の設定位置が違うことが判りました。

基準位置を KLSA 掲載の写真と同じ位置にすることで出力レベルが上がりますので HDP-3 で出力レベルが低い方は参考にして頂ければと思います。

調整セミナーの終盤でMeasure Room 実施後のパラメトリック EQ の使い方が説明されました。

このルーム EQ の設定次第では最終的な音質が様変わりするわけですが、説明の中で「大きな山や谷は別として質感（表現は違ったかもしれませんが）に大きく影響するのでディップ（谷）は無理に補正しない方が良く、逆にピークは積極的に落とした方が良い。

とのアドバイスを頂き、今後の設定に向けて大きな参考になりそうです。

DEQX の設定はプロに任せて・・・導入後は実際にそうなっていました。

しかし、システムの一部を変更した時などに自分で好きな様にオペレーションができる・・・これは DEQX ユーザーとしても大変嬉しいことであり、また、必要なことだと思います。

一人で調整に取り組む中で「八王子のSさん」のマニュアルには大変お世話になりました。本当にありがとうございました

その後に登場したクリズラボ製のマニュアルを手に再び調整にチャレンジしてきましたが、逆に細部に入り込むほど、疑問点が出てきます。

その度にクリズラボさんに手助けをお願いしていますが、いつも献身的に回答して下さる栗原さんには感謝あるのみです。

今後共よろしくお願い致します。



2015年10月23日
東京のNHより